

[令和6年度事務事業]

I. 基本情報										
事業の位置付け										
1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～		施策	(8) 女性活躍・働く意欲がある多様な人材の活躍		
			有	取組の方向性	③女性が活躍できる社会の実現					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(5)ジェンダー平等を実現しよう		ターゲット	5.5		
			有	取組	女性管理職の増加促進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	市職員の女性管理職割合（一般行政職）					
			有	現状値	19.1%(2023年度)			目標値	22.0%(2025年)	
2	関連計画			堺市職員ワーク・ライフ・バランス計画						
3	事業開始年度			— 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠			地方公務員法						
事業の概要										
5	事業の実施主体			本庁						
6	事業の対象			堺市職員（常勤職員、再任用職員、会計年度任用職員）				対象数	単位	
								7219	人	
7	事業の目的			地域の発展と市民の幸福の実現のため、チャレンジ精神を持って取り組む、市民から信頼される職員を育成し、少数精鋭で効率的な組織運営を行うことを目的とする。 また、全職員が、性別にかかわらず対等に市の施策や事務事業に参画し各分野で個性と能力を発揮することができる環境整備に率先して取り組み、本市の持続的な発展に寄与する。						
8	事業内容			職員の任免・人事異動の実施等						
	※国・府の基準より上回って実施した内容									
9	主な支出先			新規採用者等健康診断業務受注者						
10	公民連携・協働事業									

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	女性管理職比率（一般行政職）	%		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	20.4（R6.4.1現在）	22（R7.4.1現在）	23（R8.4.1現在）	23（R8.4.1現在）
			実績値	20.1（R6.4.1現在）	20.5（R7.4.1現在）		
		達成率	99%	93%			
当該指標を選定した理由		堺市SDGs未来都市計画のKPIとして掲げているため					
目標値の設定根拠・算出方法		R3・R4目標…R5年度（R5.4.1）に目標値を達成することを想定し、逆算して試算					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	係長級昇任試験における女性職員の受験率	%		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	73	80	88	
			実績値	54	54		
		達成率	74%	68%			
当該指標を選定した理由		管理職の女性比率を高めるためには、将来の管理職候補となる係長級の女性職員を計画的に登用していく必要があるため					
目標値の設定根拠・算出方法		R7年度に受験率が男性職員と同等程度に達することを想定し、逆算して試算 R4…R3の実績60.7%（女性職員の受験率）をR7に88%（R3の男性職員の受験率）にすることを目標として試算（堺市職員ワークライフバランス計画の策定にあたり、R3年度の実績を基にR4年度以降の目標値について再検討のうえ見直しをしたもの） R5,6…上記R4目標値を設定した算出方法にて算出（R7に88%（R3の男性職員の受験率）にすることを目標として試算）					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	人事事務	事業番号	003-021
-------	------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト						※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。				(単位：千円)		
13	財源内訳	項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度				令和7年度	
			決算		決算		当初予算		決算		当初予算	
		事業費 (a)	18,957		25,021		36,577		35,697		34,926	
		国支出金	0		0		0				0	
		府支出金	0		0		0				0	
		市債	0		0		0				0	
		その他 (負担金等)	65		0		1,258		1,156		1,020	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0				0	
		一般財源	18,892		25,021		35,319		34,541		33,906	
14		人件費 (b)	94,140		103,040		102,940		102,940		107,160	
15		年間経費 (c)=(a)+(b)	113,097		128,061		139,517		138,637		142,086	
事業費の内訳						(単位：千円)						
16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	
		係長級昇任試験関係	R6	決算	3,843	3,843	附属機関委員報酬	R6	決算	245	245	
			R7	予算	4,588	4,588		R7	予算	286	286	
		人事クラウド関係	R6	決算	17,623	16,491	内部通報相談業務	R6	決算	120	120	
			R7	予算	13,992	13,101		R7	予算	120	120	
		旅費	R6	決算	542	542	広告料	R6	決算	300	300	
			R7	予算	706	706		R7	予算	300	300	
		消耗品費	R6	決算	1,006	982	手数料	R6	決算	3,159	3,159	
			R7	予算	416	331		R7	予算	3,409	3,409	
		謝礼金	R6	決算	300	300	その他 (報酬など)	R6	決算	8,559	8,559	
			R7	予算	300	300		R7	予算	10,809	10,765	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和5年度	令和6年度
	①	係長級昇任試験受験者数	人	867	847
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,665	6,543
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	7,687	7,725
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	必要かつ最小限の人員で公務を能率的に執行するため、適材適所の人員配置を行うなど、効率的、効果的な行政運営に取り組んだ。 メンター制度や男性職員がより育児に取り組める強化策・堺モデルの継続実施、テレワークの実施などにより、女性や子育て世代の職員をはじめ、すべての職員がやりがいと成長を実感できる職場の実現に取り組んだ。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	令和4年3月に策定した「堺市職員ワーク・ライフ・バランス計画」に基づき、『働き方の実現』『多様な人材活躍』『育児等と仕事の両立支援』に資する取組を推進した。 係長級昇任試験の実施にあたっては、託児所の設置や就学前の子どもを養育する職員等を対象に係長級昇任時期選択制度の実施など、子育て中の職員が受験しやすい環境整備に努めた。 あわせて、積極的に管理職への女性職員の登用を図り、女性管理職比率は、令和5年度20.1%（令和6年4月1日現在）から令和6年度20.5%（令和7年4月1日現在）となり、前年度比で0.4ポイント上昇した。 これらの取組により女性管理職比率の向上に寄与したものの、さらなる取組が必要である。